

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年2月22日まで（2020年10月21日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	<p>株式への実質投資割合に制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。</p>
	マザーファンド	<p>株式への投資割合は、制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型

第1期（決算日：2020年11月24日）

第2期（決算日：2020年12月23日）

第3期（決算日：2021年1月25日）

第4期（決算日：2021年2月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）予想分配金提示型」は、去る2月24日に第4期の決算を行いましたので、法令に基づいて第1期～第4期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

- ◆設定来の運用で主眼を置いたポイント
 - ・設定来の先進国株式市況は、直前に迫った米国大統領選挙や新型コロナウイルスの感染再拡大などを背景に、不透明感が高まりました。このような環境下において、有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続ける「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、運用を行いました。
 - ・主な投資行動としては、3銘柄の全売却を行いました。米国を中心にメディア事業を展開するFOX CORP - CLASS A（米国）などを全売却しました。また、設定来における主な業種別の組入比率に関しては、特段の変更はありませんでした。
 - ・保有銘柄のうち加熱式たばこ「IQOS」の売上が堅調に推移したPHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）の上昇がプラスに寄与しました。
- ◆今後の見通し
 - ・2020年の先進国株式の上昇は主に株価収益率（予想P E R）の上昇によるものであり、対照

的に1株当たり利益（予想E P S）はマイナスでした。言い換えると、株価の上昇に寄与したのは企業の利益成長ではなく、各国の大規模な金融緩和や財政政策に対する市場参加者の期待を背景とした上昇といえます。運用チームは、足下のバリュエーションの高まりを受け、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

- ◆運用方針
 - ・不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。市場全体の予想E P Sがマイナスとなった一方、当ファンドで保有する企業の予想E P Sは前年対比で上昇しています。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。



ファン
ド・マネ
ジャー
ブルー
ノ・ポ
ール
ソン

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） MSCI ワールド・ インデックス（税引き後 配当込み米ドル建て）		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	（分配落）	税 分 配	込 金	期 騰 落	中 率			
（設定日）	円		円		%			百万円
2020年10月21日	10,000		—		—	—	—	1
1期(2020年11月24日)	9,999		0	△0.0	10,525	5.2	89.7	1,332
2期(2020年12月23日)	10,218		10	2.3	10,932	3.9	92.6	1,894
3期(2021年1月25日)	10,171		10	△0.4	11,407	4.3	92.0	2,113
4期(2021年2月24日)	10,158		10	△0.0	11,557	1.3	92.8	2,282

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		(参考指数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株式 組入比率	株式 先物比率
		円	騰落率	米ドル	騰落率		
第1期	(設定日) 2020年10月21日	10,000	—	10,000	—	—	—
	10月末	9,600	△4.0	9,572	△4.3	82.7	—
	(期 末) 2020年11月24日	9,999	△0.0	10,525	5.2	89.7	—
第2期	(期 首) 2020年11月24日	9,999	—	10,525	—	89.7	—
	11月末	10,044	0.5	10,752	2.2	95.2	—
	(期 末) 2020年12月23日	10,228	2.3	10,932	3.9	92.6	—
第3期	(期 首) 2020年12月23日	10,218	—	10,932	—	92.6	—
	12月末	10,340	1.2	11,096	1.5	94.8	—
	(期 末) 2021年1月25日	10,181	△0.4	11,407	4.3	92.0	—
第4期	(期 首) 2021年1月25日	10,171	—	11,407	—	92.0	—
	1月末	10,209	0.4	11,221	△1.6	95.4	—
	(期 末) 2021年2月24日	10,168	△0.0	11,557	1.3	92.8	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首（設定日）比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

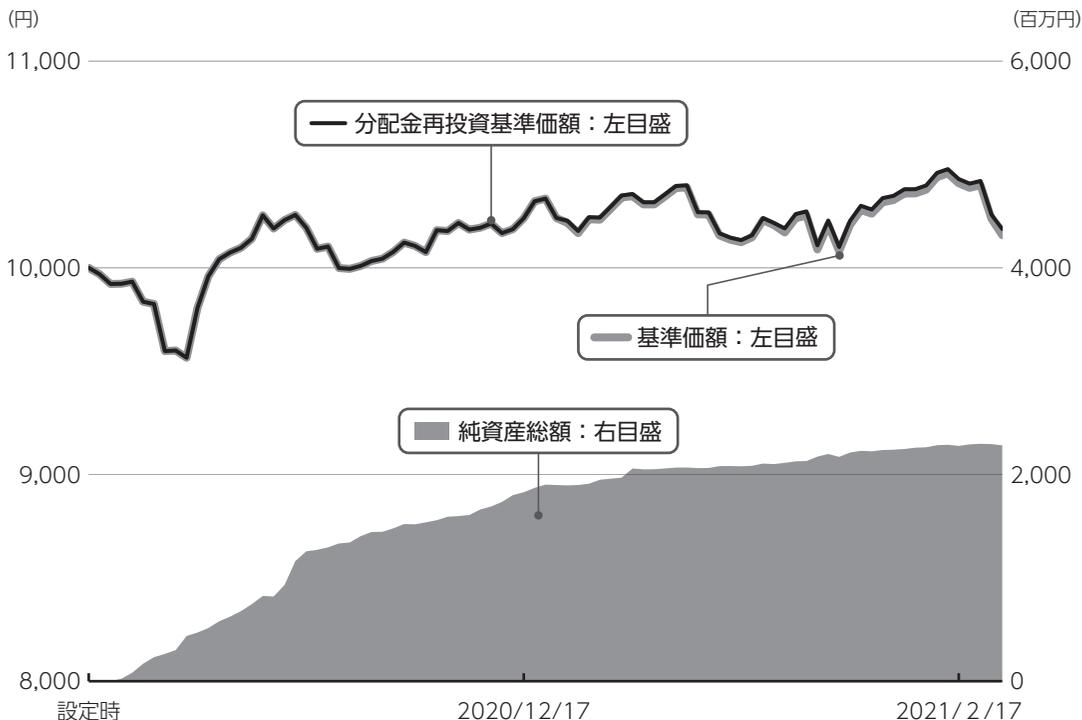
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第4期：2020年10月21日～2021年2月24日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第4期末	10,158円
既払分配金	30円
騰落率	1.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ1.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などを背景に先進国株式市場が上昇したことや、PHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）やMICROSOFT CORP（米国）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第1期～第4期：2020年10月21日～2021年2月24日

投資環境について

参考指数の推移（設定時を100として指数化）



株式市況

先進国株式市場は上昇しました。

設定時から2020年12月にかけては、米国大統領選挙の結果をめぐる不透明感の後退や、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを受け、上昇しました。

その後は、米国のバイデン新大統領による追加経済対策への期待などを背景に上昇しました。

セクター別では、エネルギーや金融などが上昇した一方、公益事業が下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針となっており、方針に基づいてヘッジを行いました。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

設定時は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

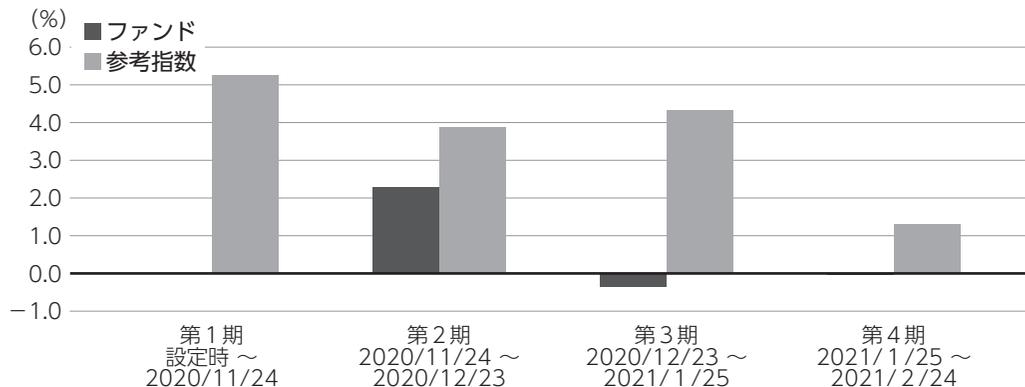
主な売却銘柄

FOX CORP - CLASS A（米国）：より成長性の高い銘柄に投資するため、全株売却しました。

第1期～第4期：2020/10/21～2021/2/24

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は、MSCIワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期 2020年10月21日～ 2020年11月24日	第2期 2020年11月25日～ 2020年12月23日	第3期 2020年12月24日～ 2021年1月25日	第4期 2021年1月26日～ 2021年2月24日
当期分配金 (対基準価額比率)	－ (－%)	10 (0.098%)	10 (0.098%)	10 (0.098%)
当期の収益	－	10	－	－
当期の収益以外	－	－	10	10
翌期繰越分配対象額	4	218	172	163

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。

▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

2020年の先進国株式の上昇は主に予想PERの上昇によるものであり、対照的に予想EPSはマイナスでした。言い換えると、株価の上昇に寄与したのは企業の利益成長ではなく、各国の大規模な金融緩和や財政政策に対する市場参加者の期待を背景とした上昇といえます。運用チームは、足下のバリュエーションの高まりを受け、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。市場全体の予想EPSがマイナスとなった一方、当ファンドで保有する企業の予想EPSは前年対比で上昇しています。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2020年10月21日～2021年2月24日

1万口当たりの費用明細

項目	第1期～第4期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	70	0.689	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(41)	(0.402)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.268)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.019)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	1	0.007	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.007)	
(d) その他費用	1	0.007	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	72	0.707	

作成期中の平均基準価額は、10,164円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

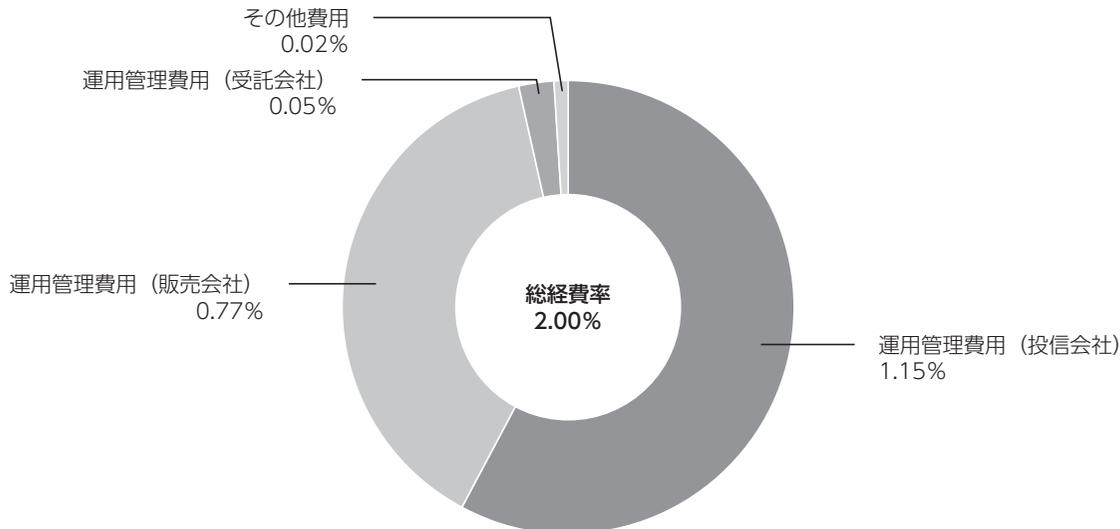
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月21日～2021年2月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第1期～第4期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 613,135	千円 2,282,069	千口 54,545	千円 209,837

○株式売買比率

(2020年10月21日～2021年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第1期～第4期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	25,304,669千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	153,081,106千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.16	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月21日～2021年2月24日)

利害関係人との取引状況

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）予想分配金提示型>

区 分	第1期～第4期						
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	百万円			%	百万円
為替先物取引	6,692	1,185	17.7	8,800	1,732	19.7	

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年10月21日～2021年2月24日)

設定時残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 1	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

(2021年2月24日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第4期末	
		口数	評価額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン	マザーファンド	千口 558,589	千円 2,155,931

○投資信託財産の構成

(2021年2月24日現在)

項目	第4期末	
	評価額	比率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 2,155,931	% 94.1
コール・ローン等、その他	136,026	5.9
投資信託財産総額	2,291,957	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(157,955,459千円)の投資信託財産総額(158,460,393千円)に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.41円	1 ユーロ=128.09円	1 イギリスポンド=148.92円	1 スイスフラン=116.40円
1 スウェーデンクローネ=12.73円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末
	2020年11月24日現在	2020年12月23日現在	2021年1月25日現在	2021年2月24日現在
	円	円	円	円
(A) 資産	2,542,929,386	3,680,793,542	4,070,877,627	4,447,012,692
コール・ローン等	115,783,847	101,768,378	140,014,970	128,326,627
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(信託)	1,220,667,303	1,797,361,993	1,979,575,144	2,155,931,605
未収入金	1,206,478,236	1,781,663,171	1,951,287,513	2,162,754,460
(B) 負債	1,210,098,380	1,785,963,512	1,957,840,723	2,164,613,913
未払金	1,208,985,893	1,781,565,476	1,952,128,579	2,158,670,014
未払収益分配金	—	1,854,388	2,077,489	2,246,863
未払解約金	—	—	—	49,274
未払信託報酬	1,110,072	2,538,402	3,627,162	3,640,263
未払利息	206	181	249	228
その他未払費用	2,209	5,065	7,244	7,271
(C) 純資産総額(A-B)	1,332,831,006	1,894,830,030	2,113,036,904	2,282,398,779
元本	1,332,928,932	1,854,388,438	2,077,489,888	2,246,863,429
次期繰越損益金	△ 97,926	40,441,592	35,547,016	35,535,350
(D) 受益権総口数	1,332,928,932口	1,854,388,438口	2,077,489,888口	2,246,863,429口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,999円	10,218円	10,171円	10,158円

○損益の状況

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期
	2020年10月21日～ 2020年11月24日	2020年11月25日～ 2020年12月23日	2020年12月24日～ 2021年1月25日	2021年1月26日～ 2021年2月24日
	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 4,445	△ 3,860	△ 3,916	△ 4,485
支払利息	△ 4,445	△ 3,860	△ 3,916	△ 4,485
(B) 有価証券売買損益	131,365	37,404,898	△ 5,548,009	845,186
売買益	6,103,848	43,615,326	8,017,742	51,005,345
売買損	△5,972,483	△ 6,210,428	△13,565,751	△50,160,159
(C) 信託報酬等	△1,112,281	△ 2,543,467	△ 3,642,106	△ 3,647,534
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 985,361	34,857,571	△ 9,194,031	△ 2,806,833
(E) 前期繰越損益金	—	△ 984,720	32,018,463	20,743,800
(F) 追加信託差損益金	887,435	8,423,129	14,800,073	19,845,246
(配当等相当額)	(△ 9,849)	(817,171)	(5,894,922)	(8,933,429)
(売買損益相当額)	(897,284)	(7,605,958)	(8,905,151)	(10,911,817)
(G) 計 (D+E+F)	△ 97,926	42,295,980	37,624,505	37,782,213
(H) 収益分配金	0	△ 1,854,388	△ 2,077,489	△ 2,246,863
次期繰越損益金 (G+H)	△ 97,926	40,441,592	35,547,016	35,535,350
追加信託差損益金	887,435	8,423,129	14,800,073	19,845,246
(配当等相当額)	(587,803)	(1,823,630)	(5,998,876)	(8,958,433)
(売買損益相当額)	(299,632)	(6,599,499)	(8,801,197)	(10,886,813)
分配準備積立金	—	32,018,463	29,940,974	27,689,576
繰越損益金	△ 985,361	—	△ 9,194,031	△11,999,472

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 設定元本額 1,000,000円
 作成期中追加設定元本額 2,247,211,115円
 作成期中一部解約元本額 1,347,686円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0158円です。

② 分配金の計算過程

項 目	2020年10月21日～ 2020年11月24日	2020年11月25日～ 2020年12月23日	2020年12月24日～ 2021年1月25日	2021年1月26日～ 2021年2月24日
費用控除後の配当等収益額	—円	4,189,180円	—円	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	29,683,671円	—円	—円
収益調整金額	587,803円	8,423,129円	5,998,876円	8,958,433円
分配準備積立金額	—円	—円	32,018,463円	29,936,439円
当ファンドの分配対象収益額	587,803円	42,295,980円	38,017,339円	38,894,872円
1万口当たり収益分配対象額	4円	228円	182円	173円
1万口当たり分配金額	—円	10円	10円	10円
収益分配金金額	—円	1,854,388円	2,077,489円	2,246,863円

③ 「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

20億円以下の部分に対して	年1万分の80
20億円超40億円以下の部分に対して	年1万分の75
40億円超80億円以下の部分に対して	年1万分の70
80億円超の部分に対して	年1万分の65

○分配金のお知らせ

	第1期	第2期	第3期	第4期
1万口当たり分配金（税込み）	0円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第18期》決算日2021年2月24日

[計算期間：2020年8月25日～2021年2月24日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月24日に第18期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン ト・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・ インデックス(税引き後 配当込み米ドル建て)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	期 騰 落 率	中 騰 落 率	期 騰 落 率	中 騰 落 率	期 騰 落 率	中 騰 落 率			
	円	%	円	%		%	%	%	百万円
14期(2019年2月25日)	30,100	1.9	110.78	0.0	18,769	△2.4	98.4	—	73,237
15期(2019年8月23日)	32,365	7.5	106.66	△3.7	19,398	3.3	97.3	—	103,294
16期(2020年2月25日)	36,362	12.3	110.91	4.0	21,368	10.2	98.1	—	149,018
17期(2020年8月24日)	37,118	2.1	105.80	△4.6	22,140	3.6	98.6	—	157,527
18期(2021年2月24日)	38,596	4.0	105.41	△0.4	25,974	17.3	98.2	—	157,768

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)(出所: MSCI)の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率	米 ドル	騰 落 率		
(期 首) 2020年8月24日	37,118	—	105.80	—	22,140	—	98.6	—
8月末	37,977	2.3	105.36	△0.4	22,745	2.7	99.0	—
9月末	36,785	△0.9	105.80	0.0	21,880	△ 1.2	98.3	—
10月末	35,040	△5.6	104.60	△1.1	21,513	△ 2.8	97.0	—
11月末	36,960	△0.4	103.89	△1.8	24,166	9.2	97.8	—
12月末	38,250	3.0	103.50	△2.2	24,939	12.6	97.4	—
2021年1月末	38,215	3.0	104.48	△1.2	25,220	13.9	97.5	—
(期 末) 2021年2月24日	38,596	4.0	105.41	△0.4	25,974	17.3	98.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

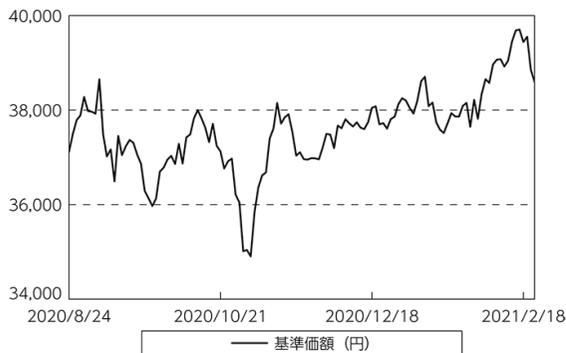
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

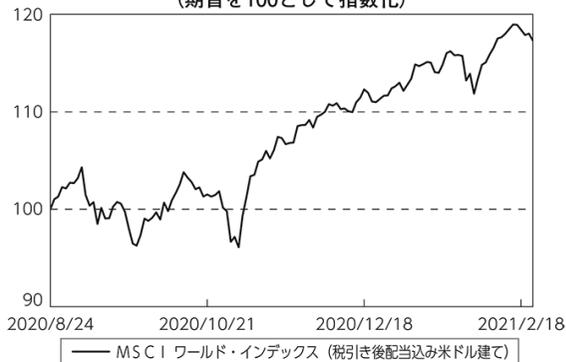
(上昇要因)

新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などを背景に先進国株式市場が上昇したことや、AUTOMATIC DATA PROCESSING (米国) や PHILIP MORRIS INTERNATIONAL (米国) の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

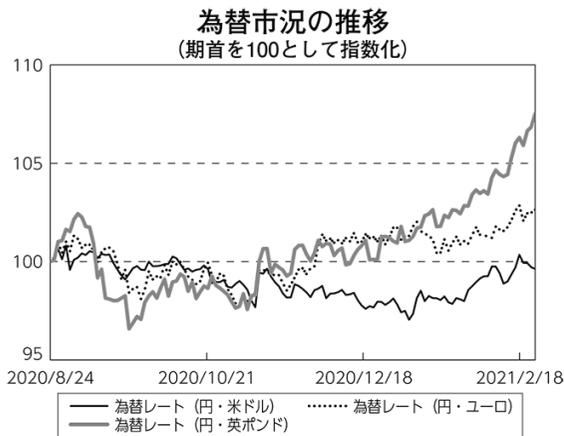
参考指数の推移

(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市況は上昇しました。
- ・期初から2020年10月にかけては、米国の追加景気刺激策が合意に至らなかったことや、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて下落しました。
- ・11月から12月にかけては、米国大統領選挙の結果をめぐる不透明感の後退や、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを受け、上昇しました。
- ・その後は、米国のバイデン新大統領による追加経済対策への期待などを背景に上昇しました。
- ・セクター別では、金融やエネルギーなどが上昇しました。



◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落した一方、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の継続が長期化するとの見通しなどを背景に、米ドルは対円で下落した一方、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展などを背景に投資家心理が改善したことなどから、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎新規組入銘柄

- ・当期の新規組み入れ銘柄はありませんでした。

◎主な売却銘柄

- ・FOX CORP - CLASS A（米国）：より成長性の高い銘柄に投資するため、全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・2020年の先進国株式の上昇は主に予想PERの上昇によるものであり、対照的に1株当たり利益（予想EPS）はマイナスでした。言い換えると、株価の上昇に寄与したのは企業の利益成長ではなく、各国の大規模な金融緩和や財政政策に対する市場参加者の期待を背景とした上昇といえます。運用チームは、足下のバリュエーションの高まりを受け、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。
- ・不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。市場全体の予想EPSがマイナスとなった一方、当ファンドで保有する企業の予想EPSは前年対比で上昇しています。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることが

でき、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2020年8月25日～2021年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.004 (0.004)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.007 (0.007)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	6	0.017	
期中の平均基準価額は、37,587円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月25日～2021年2月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 6,023	千アメリカドル 86,034	百株 13,260	千アメリカドル 123,041
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,363	13,710	316	3,731
	フランス	850	14,726	276	7,471
	オランダ	283	936	661	2,160
	イギリス	141	268	641	1,297
	イギリス	1,441	千イギリスポンド 6,227	8,278	千イギリスポンド 32,014

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2020年8月25日～2021年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	33,041,433千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	153,354,875千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.21

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月25日～2021年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年2月24日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	5,600	5,401	65,253	6,878,397		ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,395	3,573	61,489	6,481,625		ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A	3,571	2,824	72,357	7,627,180		ソフトウェア・サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC	7,495	8,145	63,650	6,709,374		ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	2,355	2,271	56,276	5,932,100		ヘルスケア機器・サービス
COCA-COLA CO/THE	5,644	5,444	27,518	2,900,733		食品・飲料・タバコ
DANAHER CORP	2,987	2,746	61,489	6,481,569		ヘルスケア機器・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	490	297	9,006	949,342		各種金融
MOODY'S CORP	584	563	15,558	1,639,986		各種金融
PROCTER & GAMBLE CO/THE	5,296	5,318	67,815	7,148,474		家庭用品・パーソナル用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	306	797	30,915	3,258,762		資本財
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,221	1,177	54,043	5,696,696		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	2,693	2,836	38,776	4,087,390		ソフトウェア・サービス
NIKE INC -CL B	1,887	1,420	19,330	2,037,652		耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP	6,075	5,903	137,711	14,516,184		ソフトウェア・サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	2,259	3,703	41,264	4,349,644		各種金融
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	15,052	14,519	125,504	13,229,409		食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	4,016	3,874	82,173	8,661,867		ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	1,441	1,252	19,986	2,106,734		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FOX CORP - CLASS A	4,440	—	—	—		メディア・娯楽
FOX CORP - CLASS B	2,493	—	—	—		メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額	79,309	72,072	1,050,119	110,693,126	
	銘柄 数 < 比 率 >	21	19	—	< 70.2% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	4,386	5,433	55,907	7,161,155		ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	4,386	5,433	55,907	7,161,155	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 4.5% >	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	411	415	22,386	2,867,445		耐久消費財・アパレル
L'OREAL	1,138	999	31,168	3,992,325		家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA	1,275	1,985	31,863	4,081,406		食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	2,826	3,400	85,417	10,941,177	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 6.9% >	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	7,320	7,061	6,791	869,898		食品・飲料・タバコ
HEINEKEN NV	3,359	3,240	27,709	3,549,334		食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	10,680	10,301	34,501	4,419,233	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 2.8% >	
(ユーロ…イギリス)						
RELX PLC	5,331	4,831	9,696	1,242,078		商業・専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	5,331	4,831	9,696	1,242,078	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.8% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	23,224	23,966	185,523	23,763,645	
	銘柄 数 < 比 率 >	7	7	—	< 15.1% >	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	4,571	—	—	—		家庭用品・パーソナル用品

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千イギリスポンド	千円		
RELX PLC	13,785	13,297	23,018	3,427,844	商業・専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	13,816	13,539	80,829	12,037,164	家庭用品・パーソナル用品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	10,086	9,729	25,355	3,775,924	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	4,797	3,654	8,708	1,296,817	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	47,058	40,220	137,911	20,537,751	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	4	—	<13.0%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	149,591	136,260	—	154,994,523	
	銘柄 数 < 比 率 >	33	30	—	<98.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 154,994,523	% 97.8
コール・ローン等、その他	3,465,870	2.2
投資信託財産総額	158,460,393	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（157,955,459千円）の投資信託財産総額（158,460,393千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.41円	1 ユーロ=128.09円	1 イギリスポンド=148.92円	1 スイスフラン=116.40円
1 スウェーデンクローネ=12.73円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年2月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	158,707,015,847
コール・ローン等	3,014,846,306
株式(評価額)	154,994,523,204
未収入金	649,867,125
未収配当金	47,779,212
(B) 負債	938,169,880
未払金	689,169,770
未払解約金	249,000,000
未払利息	110
(C) 純資産総額(A-B)	157,768,845,967
元本	40,876,707,646
次期繰越損益金	116,892,138,321
(D) 受益権総口数	40,876,707,646口
1万口当たり基準価額(C/D)	38,596円

<注記事項>

- ①期首元本額 42,440,247,273円
 期中追加設定元本額 3,102,401,588円
 期中一部解約元本額 4,665,941,215円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,8596円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	23,165,358,072円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	16,125,963,367円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	558,589,389円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	542,796,247円
ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	484,000,571円
合計	40,876,707,646円

[お知らせ]

当ファンドを投資対象とする追加型証券投資信託の新規設定(予定)に伴い記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2020年10月5日)

○損益の状況 (2020年8月25日~2021年2月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,117,627,809
受取配当金	1,117,568,297
受取利息	153,499
支払利息	△ 93,987
(B) 有価証券売買損益	5,450,004,538
売買益	13,189,409,819
売買損	△ 7,739,405,281
(C) 保管費用等	△ 10,955,996
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,556,676,351
(E) 前期繰越損益金	115,087,589,296
(F) 追加信託差損益金	8,418,844,889
(G) 解約差損益金	△ 13,170,972,215
(H) 計(D+E+F+G)	116,892,138,321
次期繰越損益金(H)	116,892,138,321

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。